

07 | 感染症対策の取組

新型コロナウイルスの感染予防について

阪急電鉄では「鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に基づき、これまで同様に各種取組を実施しております。

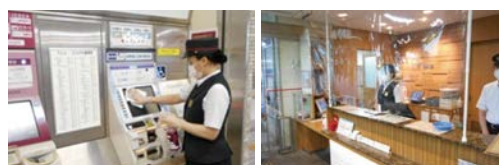
国土交通省や厚生労働省からの要請等を踏まえ、ご利用のお客様におかれましても感染症対策の観点から、車内・駅構内でのマスクの着用、会話を控えめにする事へのご協力をお願いいたします。また、在宅勤務（テレワーク）や時差出勤のご協力をお願い申し上げます。

ご利用のお客様に対する感染防止の取組

抗ウイルス・抗菌・消毒の実施

車両では、当社が保有するすべての車両で抗ウイルス・抗菌加工が完了し、車内にステッカーを掲出しています。

駅では、券売機や階段等の手すりなど、お客様が頻繁に触れる箇所を定期的に消毒しております。また、駅改札の係員窓口にビニールシートを設置しております。

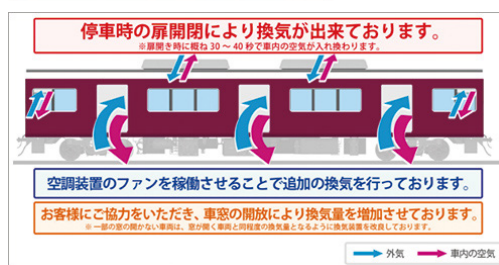


■ 以下のステッカー掲出車両は窓を閉めて運行します。

 この車両は空調装置で換気しているため窓を閉めて運行しています
This train is operated with the windows closed because the cars are ventilated through the air conditioning system.

■ 引き続き以下のステッカー掲出車両は換気のため窓を開けて運行します。

換気のため、窓を開けて運行しています
ご協力をお願いします
Windows are kept open for ventilation. Thank you for your cooperation.



車内換気について

暖房を使用する冬期（11月から3月）について、車内換気の取扱いをホームページでお知らせいたします。

空調装置を改造した車両は、空調装置のファンを稼働し換気ができていますので、窓を閉めて運行します。空調装置のファンを稼働できない車両は、窓を開けて運行します。

各車両の状況は、右のステッカーを掲出してお知らせしています。

また、4月から10月の期間では、可能な範囲で窓を開け換気量を増加させています。

従業員の感染拡大防止の取組

健康管理の徹底（出勤前の検温など）

対応マニュアルに則り、全社員が出勤前に検温を実施し、健康管理の徹底を図っています。

時差出勤、在宅勤務の取組

本社従業員について、20パーセントを目標とした在宅勤務と時差通勤の徹底を図っています。

「3密（密閉・密集・密接）」対策の徹底

教育や講習会開催時の換気、参加人数を抑制するなどの対策の徹底を図り、社内での*マスク着用を指示しています。

*当社係員のマスク着用について

従業員は作業上において、お客様と近接しないことを確認した上で、マスクを着用しない場合がございます。ご理解のほどよろしく申し上げます。